

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイエー藤沢店	階数	地上2F
建設地	藤沢市藤沢字東横須賀520番2 他	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	6,350 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	5,110 時間/年
建物用途	物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年8月 予定	評価の実施日	2011年2月28日
敷地面積	3,950 m ²	作成者	安藤建設(株)
建築面積	3,136 m ²	確認日	2011年2月28日
延床面積	6,003 m ²	確認者	安藤建設(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	階層を2階とし、建物高さを抑える事で、周辺環境への圧迫感の防止や生活環境維持に配慮を行った。	その他 0
Q1 室内環境	1、2階の売場については、基本的に交通量の多い東側道路から後退並びに直接面する事を避け、ワンクッション置くことで外部騒音の直接の侵入回避を図ると共に、内装建材はF等級品を使用する事で室内環境の向上に配慮	Q3 室外環境(敷地内) 商店街や近隣景観への配慮を基本に、建物周囲は明るさと整然とした雰囲気近隣に与えられるよう、室外環境に配慮した。
LR1 エネルギー	設備エネルギーの省資源化や高効率化に配慮した。	LR3 敷地外環境 ピロティにより日影スペースを設け温熱効果削減を図ると共に、ゴミ分別等により負荷低減に配慮した。
Q2 サービス性能	高天井への配慮や、売場の大空間を形成し、客や店員の快適性の追求を図った。	
LR2 資源・マテリアル	既存躯体の再利用や、再生材料の使用を図り資源の有効利用に配慮した。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたし